

<p style="text-align: center;">公共情報システム論 Public Information Systems</p>	<p>(教員名) 吉田 大介、近 勝彦、<中野 秀男></p>	
<p>都市政策専攻 展開科目 都市情報学専攻 展開科目</p>	<p>講義科目</p>	<p>選択</p>
	<p>1 単位</p>	<p>2017 年度・後期</p>
<p>I 科目の主題</p> <p>公共の情報システムは大型汎用計算機で情報処理した時代から、インターネットで代表されるオープンな情報システムも併用して住民サービスを行う情報システムに変化している。</p> <p>この講義では、このような公共システムを電子政府・自治体のいくつかの切口から論じる。また、現場で実際に自治体の情報化で活躍されている方をゲストスピーカに迎えた講義を例年行っている。最近の話題である電子自治体やオープンデータなどについての試み等に、各講師のそれぞれの立場から講義する。</p>		
<p>II 授業の到達目標</p> <p>様々な自治体の公共情報システムやサービス、そして、これらのシステムが必要となった背景や構成する仕組みについて理解できるようにする。また、国や地方自治体、住民からの視点など、多方面から公共情報システムについて考えられることが本科目の到達目標である。</p>		
<p>III 授業内容・授業計画</p> <p>各回の構成は以下のように予定している。 (『…』内は昨年度の実施内容で同様の紹介を予定している)</p> <p>第 1 回 ガイダンス, 庁内情報化と地域情報化 第 2 回 実証試験による新しい試み 第 3, 4 回 公共情報システムの事例 (1) 『うめきたグランフロントの事例紹介』 第 5, 6 回 公共情報システムの事例 (2) 『大阪市の事例紹介』 第 7, 8 回 公共情報システムの事例 (3) 『京都市の事例紹介』 第 9, 10 回 公共情報システムの事例 (4) 『豊中市等の事例紹介』 第 11 回 オープンガバメントとオープンデータ (事例紹介) 第 12 回 オープンイノベーションと公共情報サービス 第 13 回 電子政府・電子自治体構築の現状と課題 第 14 回 行政組織改革と行政 C I O 第 15 回 まとめ</p>		
<p>IV 事前・事後の学習内容</p> <p>講義用ホームページに予め講義資料を掲載しておくので、授業前までに確認しておくこと。 授業後は講義で解説した内容について各自で調べ、次回の授業までに質問内容を考えておくこと。</p>		
<p>V 評価方法</p> <p>講義への出席点とレポート点で評価します。各講義での議論に対する積極性も評価に加点される予定です。</p>		
<p>VI 受講生へのコメント</p> <p>ゲストスピーカを呼んだときは 2 限連続の場合があるので最初に示す講義のホームページをときどき見ておいてください。</p>		
<p>VII 教材</p> <p>毎回、資料を配布します。</p>		